

湯本地域の「いいところ」、さがして、活かして、地域を元気に！

■「湯本ホタル農法米」、「湯本りんどう生産組合」など。今年も農業振興に取り組んでいます！

今年も「湯本ホタルの里」では、たくさんの野生のヘイケボタルが、地元住民や旅館宿泊客のみなさんの目を楽しませています。そのホタルとの共生をめざした「湯本ホタル農法米」は、今年も池田栄さんを中心としたメンバーで栽培をしています。7月には、東京の多摩市植物友の会のみなさんが、この無農薬の田んぼを視察。福島県内でここでしか自生が確認されていない植物「ミズニラモドキ」などを観察しました。9月には、生き物観察会を予定。生き物リストを作成し、今後のPRに生かしていきます。また、今年から「湯本りんどう生産組合」が発足。寒暖の差がはげしい湯本の気候を生かしたなりわいとして、花物のりんどうを地域産業にすることが目標です。来年から、美しい花をご覧いただけるように努力しています。



■今年もやります！「とれたて湯本高原野菜直行便」

去年から受注し、たいへん好評を博した産直野菜「直行便」。今年も注文を受け、20名の方に野菜をお送りします。そして今年からは野菜を送るだけでなく、秋に生産者と消費者との「交流会」を開催する予定。文字通り「顔の見える野菜」をめざします。



■「軽トラ市」、今年も好評でした

湯本とれたて軽トラ市を、8月12日（日）に開催しました。今年は時間を朝9時からに変更したため、旅館のお客さんも立ち寄っていただくことができました。今年はこの一回限りでしたが、来年も開催できるようにがんばります！



■ふたまたぎつねが大活躍中です！

3月31日の「E I M Y地域づくりフォーラム」でお披露目となったふたまたぎつねが、5月13日（日）の二岐山開き、5月20日（日）の湯本地区合同運動会、7月14日（土）の羽鳥湖ウォークなど、さまざまなイベントに出演。今後も羽鳥湖マラソンや文化祭など、出演オファーが殺到しています。地域のゆるキャラとして、見守ってあげてください！



■湯本小学校と、郡山市立安子島小学校の森林学習で講師を務めました

6月15日（金）に湯本小、6月19日（火）に安子島小の森林学習の時間に講師を務めました。湯本・二岐の自然を子どもたちに満喫してもらいました。

■「キズナ強化プロジェクト」で体験プログラムを提供しています



外国の学生を呼んで、福島県内で交流を深めてもらう「キズナ強化プロジェクト」にE I M Yも参加し、「日本の田舎体験」と「餅つき体験」のプログラムを提供しています。7月11日（水）には、アメリカの高校生110人、8月7日（火）・8日（水）にはカンボジアのサーカス団25名を受け入れました。湯本案内人の会のみなさんや、湯本青年会の協力の下、たいへん好評を得ています。今後も受け入れる予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



E I M Yの事務所が引越しました

E I M Y湯本地域協議会の事務所が、岩瀬湯本郵便局となりの「湖北庵」へと移転しました。日本E I M Y研究所との併設となっています。「えんがわ喫茶」が開いているときにはどうぞお立ち寄りください。

E I M Y湯本地域協議会

〒982-0621

天栄村大字湯本字中田54 湖北庵内

TEL：0248-94-8820（湯本写真館：星昇）

HP アドレス：http://www.geocities.jp/eimyumoto または「E I M Y湯本地域協議会」で検索！

ふたまたぎつねのつぶやき（ツイッター）
https://twitter.com/#!/FutamataGitsune

湯本のいいとこつぶやくから、
みんな見てくま！！

